

# みんなで作る まちのプロジェクト

このコーナーは、上毛町第1次総合計画に描かれるまちの将来像「みんなでひらく上毛の未来」を実現するために取り組んでいる事業など、毎月シリーズで紹介するものです。

## Vol.9 「活かしあうまち」 ひとりひとりがまちの未来

### 人と文化が輝くふれあいのまち

国指定の大ノ瀬官衙遺跡をはじめ、点在する史跡、松尾山のお田植祭など、上毛町は、地域特有の歴史・文化資源に恵まれたまちです。こうした資源は、地域の誇りとして積極的な保存活用が行われるようになっており、今後はますます地域と行政が連携した取り組みを行うことが大切です。

また、価値観や生活様式が多様化する現代においては、一人ひとりが心のゆとりや豊かさを求め、生涯学習に対する意欲が高まっています。生涯にわたって学び、自己啓発を続けたいという皆さんのニーズに応えるため、町は生涯学習体制の充実に向けて取り組んでいます。

今回は、町の歴史・文化の保存と活用、また、生涯学習活動を支える仕組みづくりについて、一緒に考えてみませんか。

# 【文化財の保存と活用を促進します】

## 地域と行政が連携した文化財の保存と活用

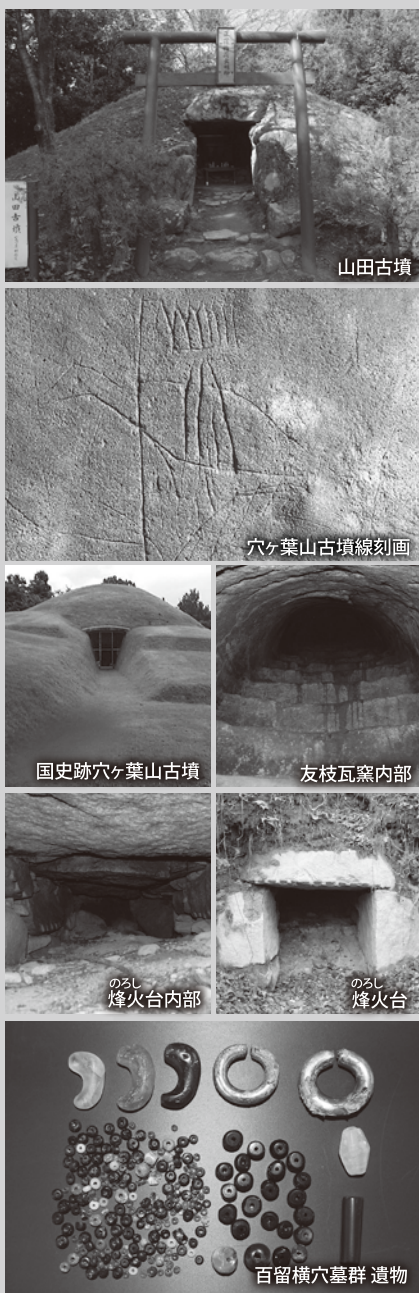
国や県、町が指定する文化財のほかにも、町内には様々な歴史遺産が点在していますが、日常生活の中では皆さんに意識されることもなく、決して身近な存在だとはいえません。

一方、百留横穴墓群や吉岡巨石塚にみられる地域の皆さんによる有形文化財の保護活動、また、神楽やお田植祭などの無形民俗文化財の保存継承活動のように、近年では、様々な保存活動が活発になってきました。歴史的な意義を持つ文化財を地域の宝物として意識することで、広く誇れる資源となり、地域振興につながっています。さらに、風土や慣習を反映して地域に根付いてきた祠やお堂などの身近な文化財を有効に活用することにより、もっと多くの方々に関心を持ってもらうことができるのではないかと期待されています。

こうした地域の状況を踏まえ、文化財の保存と活用を効果的に行うには、地域と行政が連携することが大切です。

## 上毛町文化財活用 まちづくり計画の策定

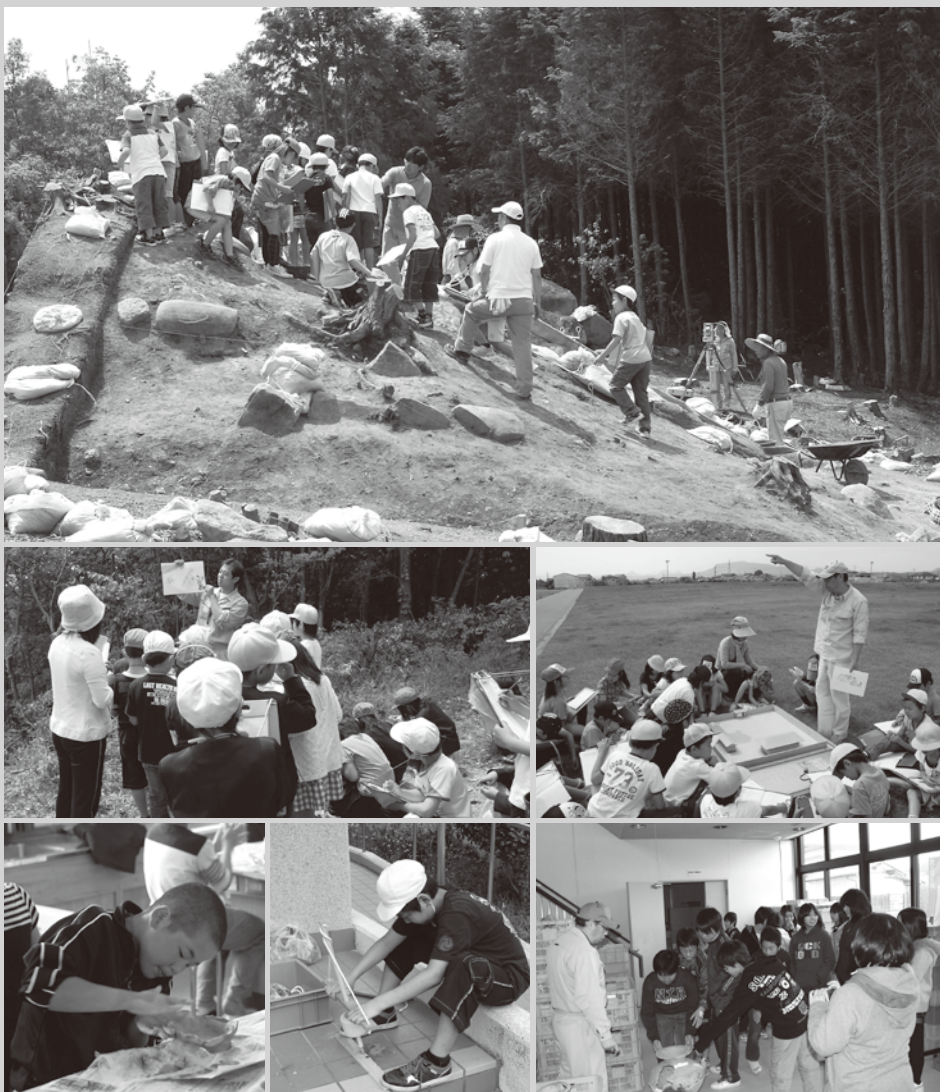
将来に向けて文化財をまちづくりに活かすことを目的として、町は「行政と住民の協働による望ましい保存活用の方針」を示す「上毛町文化財活用まちづくり計画」の策定に取り組んでいます。各地域に点在する文化財の現状や、地域による活用状況を把握するため、4回の委員会(南吉富地区・西吉富地区・友枝地区・唐原地区)開催と現地視察を行っています。その中で出された問題点や課題、地域活動の方向性などの意見を集約し、今後、文化財を活用したまちづくりの方向性や将来像などを計画書にまとめていきます。



## 小学生を対象とした文化財学習の実施

町内の子どもたちに、文化財をより身近に感じてもらう取り組みとして、小学校単位で文化財学習を行っています。文化財の見学をはじめ、町の歴史をテーマにした出前授業や土器づくり体験など、様々な内容となっています。町内の遺跡から出土した土偶や埴輪が展示されている九州国立博物館へ見学に行くこともあります。これらの学習を通して、子どもたちが昔の人々の生活を体感し、先人たちがつくり上げてきた歴史的な意義を持つ文化財を大事に思い、郷土への愛着を深めていくことを願っています。

● 総合窓口課文化財保護係 TEL722-111(内線315)



## 【生涯学習体制の充実と活動の推進】

### 生涯学習サポーター

生涯学習サポーターとは、町の行事やスポーツ大会等に運営スタッフとして協力したり、小中学校における課外授業、生涯学習講座、その他地域のさまざまな場に指導者として参加していただける個人やグループのことです。現在、町内で16名の方が生涯学習サポーターとして登録され、活躍しています。

## 自分のできる事を活かす

**俳句・囲碁等の趣味を持つ方**  
学校のクラブ活動などの指導者に

**野外活動が得意な方**  
キャンプで子ども達を指導したり楽しい遊びを教えたり

**町の色々なイベントに携わりたい方**  
スタッフとして参加

**地域の歴史に詳しい方**  
生涯学習講座などの講師に

生涯学習体制の充実を目指して、随時、生涯学習サポーターを募集しています。  
自分にできる事を活かしてみませんか？

● 問い合わせ先 教務課 社会教育係 TEL722-3111(内線173)